

「令和5年度片瀬・江の島まちづくりタウンミーティング(地区集会)」

実施内容

【日時】 3月2日(土)午前10時30分～午後0時30分

【場所】 片瀬市民センターホール

【参加者】 33人(会場30人、オンライン3人)

内訳

人

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
0	0	2	2	8	11	6	4	33

【委員】 13人

合計 46人

【内容】 第一部 まちづくり協議会令和4、5年度2年間の活動報告

(1)まちづくり協議会全体の活動報告

(2)各部会の活動報告

第二部 (1)アンケート結果報告

(2)グループトーク

【内容詳細】

「第一部」 2年間の活動報告(スライド資料のとおり)

(1)まちづくり協議会全体の活動報告

(2)各部会の活動報告

「第二部」

(1)アンケート結果報告 : 集計結果を元に報告

【主な内容】

アンケート実施目的

「みんなが地区集会に参加してくれるにはどうしたらよいのだろう」と考え、様々な世代の方が地域の活動に対し、どのように感じたり、思ったりしているのかを把握するため。

回答数 151人(うち電子回答97人)

<アンケートからみえてくること>

- ① 12ページ問5
地域活動に参加したことがあるが、80%超。
特に多いのは、避難訓練や海岸清掃活動、まつりなど。
参加したことがない理由は“仕事などで忙しい”や“参加方法がよくわからない”の回答が多い。
- ② 15ページ問7
地域活動に関わりたいと思うが、65%。
思わないと回答の年代別から見えてくること
問5と同様に、“仕事が忙しく時間がない”が多い。特に40代から60代の現役世代の方は「地域活動なんてやってるヒマはない!」ということか。60代以上になると「年齢や健康に不安を感じてきて、地域のための活動まではできない」が多い。
- ③ 17ページ問8
どのような活動なら参加できるかの年代別。
問5と同様に、“まつり”や“清掃活動”などが多い。
「仕事が忙しくてなかなか活動に参加はできない」が、「一日で終わるイベント的な活動ならできる」「参加したいときだけ参加する」「無理をしない活動がよい」という意見。
- ④ 18ページ問9。
どの様な方法であれば参加できるか。
「活動できるのは土日」「イベントの手伝いだけ」「連絡はメールやライン」。問8と同様の意見。
- ⑤ 19ページの問10
町内会には多くが加入。
市内の自治会加入率が67.7%のところ、片瀬地区は91.4%と、市内で一番の加入率。入っていない方の理由は、「入り方がわからない」「勧誘されなかった」。町内会に関する情報発信の方法を考えていく必要がある。
- ⑥ 21ページ問12
地域活動では担い手不足が顕著であることから、有償化も必要かという質問。
60%の方が「有償化であればやってもよい」との回答。ボランティアも無償ではなく、何かしらの対価が必要な時代となってきている。
- ⑦ 22ページ以降問13の自由記述意見

<質問1> アンケート問5の「地域の活動やイベントに参加したことがあるか」の回答で、なしが20人いる。地区集会に参加していない、この20人(実際はもっと多いと思うが)の人をどうしていくか、まちづくり協議会としての見解を聞かせてほしい。

<回答1> 参加したことがないこの20人の方が、どうしたら参加していただけるのか、そのヒントがいただきたく今回このテーマで地区集会を開催した。回答にはなっていないが、皆さんからたくさんのご意見をいただき、この20人の方が参加したくなるような活動を進めていきたい。

<質問2> アンケートの電子申請の人数を教えてください。

<回答2> 数字が手元になく、後で回答。

電子申請97件、アンケート用紙54件

(2) グループトーク

5グループにわかれ実施

1・3・4はホール、2は和室、5は第2談話室

<グループトークの意見>

(片瀬のまち・地域のつながり)

- ・50年住んでいるが、大変住みやすいと感じている。
- ・生まれも育ちも片瀬なので、田舎がないのが寂しい。
- ・片瀬に住んでみて、色々な人と出会い、色々な人と話ができ、充実して生活ができている。
- ・夫が海の近くが好きで住み始めたが、住みやすく本日のような集会に出席できて良かった。
- ・スバナ通り: 常住者少ない。マンションがたくさんあり、昔からの人が少ない。
- ・環境としては暮らしやすいが、地域住民とのつながりが見えにくい。誰に助けを求めて良いかわかりにくい。災害が突然起こったら、この人に聞けばよい、この場所に行けばよいということが分かれば良いと思う。
- ・片瀬山だけの松本市との交流もある。藤沢市の13地区との(特に北側地域)つながりが必要(災害時の避難場所)南は地引網、北はキャンプ等を行い交流したらどうか。
- ・まず、知り合う。
- ・組織を作るよりも、やりたい人がやりたいことをやる(身体を先に動かす)
- ・高齢者とのつながり(他地区との交流)、健康体操など
- ・リモート参加より顔を見ての参加の方が、よりよい交流が出来る。

(子ども)

- ・小さい時から色々な「会」に出席させて、親子で参加しやすい催しものを多く企画して欲しい。
- ・子どもの施設(預かり)が海岸の方にはなく、観光が主になっている。
- ・片瀬では、子どもがやんちゃをしながらもとても素直に育っている。そんな子どもたちが将来まちづくりに参加できるように子どもたちとの防災イベント、お祭り参加で地元愛を育む。お祭り参加の門戸を広げるなど、子どもから親、祖父母を巻き込んでいくのが良いし、自然と関わっていくようになる。
- ・小3の子どもがいる。自然豊かな場所だが、公園が少なく、小さい。外で遊ばないのか公園に行っても子どもがいない。
- ・子どもと参加できるイベント。手軽に参加出来るイベント。
- ・子どもを通して知り合いが出来た。
- ・子どもの見守りが地域で出来ていること。
- ・祭りを通して、こどもの参加者を多くすることが大切

(ボランティア)

- ・町内会で出来ること。ゴミ当番など。無償は今の時代に合わない。
- ・ボランティア、昼夜どちらも同じ人がずっとやっている。
- ・おはようボランティア 地域違うが同じことをやっている。行政の縦割りを感ずる。人のやりくりが大変。
- ・片中PTAサポーター 単発で来るのは大丈夫→とりまとめ分散して
- ・育休中なら出来る。
- ・自治会加入した人も、役員にはならない。(夜勤、日勤、休日バラバラ)
休みは家族サービス優先
- ・おはようボランティア:どんなことするか、情報を広めて。1人ではできない。JJBC申し込んでいるが来ない。
- ・当番が大変→“有償”が必要。
- ・縁側でスタンプ集める。工夫が必要
- ・息子は夜勤のある介護の仕事で地域活動は難しい
- ・自治会のスポーツ部長30人ぐらい集めて誰でもできる“ポッチャ”を実施。
→土日でも5~6人しか出てこない。
- ・ヨガ、リズム:若いママが講師。若干の謝礼→やりたい人はママ同士で広げる。
- ・自分たちが楽しくやっていれば良い。SNSの発信や謝礼も。
- ・自分のテリトリー趣味を活かす
- ・つなげる、ラインで広がる→ボランティアにどうつなげるか
- ・地域活動にどうしたら参加出来るのか? 知ることが出来るのか? 知らない人が多

い。

(SNS の活用)

- ・にこにこ広場:スマホ教室の先生で、若いママが来てくれる。
- ・SNS の活用

(防災)

- ・防災に関する話も多かったが防災情報の周知、そして海から山と特徴ある地形の片瀬は一連ではなく各町内会ごとの防災を考えていく必要がある。
- ・町ごとの防災の取り組みを子どもたちと一緒に出来たら良いと思う。
- ・防災のことを考えるとつながりが必要である。町内会と言われると引いてしまう人が多い。
- ・「防災」に力を入れて欲しい。片瀬海岸に住んでいるので、非常に感じている。

(まちづくり)

- ・空家をどうにかしないといけない。更地にするか？市に買い取ってもらおうか？
なんとかしないといけないと感じている。
- ・お祭りは良いが、歴史文化の継承がまわらない。
- ・町内会の人達のまわりなどの若い人を巻き込むことが重要。いかに集めていくか。
- ・片瀬山の地域に住んで住みやすい
- ・いい人が多い
- ・ゴミが多いと環境に問題がある。防犯、犯罪に良くない。
- ・病院が多い
- ・交通の便がいい
- ・スーパーが少ない。
- ・片瀬に転入してくる若い人が多いのになぜこのような集会の場に参加していないのか？個性的な若者が多いこともあるが、何かしらの地域の合意形成が見られないし、感じられないことも大きな要因の1つではないか。
- ・自然、文化伝統がある町。つとめと近い場所。日本人としてのアイデンティティ。「安心と笑顔がある町」に貢献できたら良い。海に近く落ちつく場所。無駄に歩く。異文化交流は日本国内でも出来る。片瀬は出会う方みんな良い人。自信と誇りが持てる街に。
- ・20年間在住 特段積極的に地域活動に参加することはなかった。自然環境がある。鎌倉にも近い。地域の課題を洗い出して、認識するコミュニケーションの場
- ・高齢者からの要望として町の中にコミュニティバスを走らせて欲しい。
- ・「まちづくり」なのか「地域活動に参加」なのか焦点が欠けている。

参加者アンケート集計結果

※回答数:29件(紙 27 件、オンライン2件)

1 回答者属性

(1)居住地区

江の島	0
片瀬	12
片瀬海岸	10
片瀬山	6
片瀬目白山	0
その他	1

(2)年代

30代	2
40代	2
50代	4
60代	12
70代	6
80代以上	3

(3)今回の地区集會を何で知ったか。

回覧ちらし	14
ホームページ	1
家族・知人から	6
その他	7

※回答数28件

その他内訳:
委員の方等の紹介 1件
地域団体会議 6件

2 地区集會について

(1)地区集會に参加した感想

とても良かった	12
良かった	10
普通	5
良くなかった	2
まったく良くなかった	0

<とても良かった・良かった・普通>

- ・ いろいろな意見を聞くことができた。(複数回答あり)
- ・ 時間が短く感じました。(複数回答あり)
- ・ 継続的に開催される事が大切。
- ・ 活動の報告がていねいで分かりやすかったです。(初めての参加でした)
- ・ グループトークの時間が短すぎたので残念。とても魅力的な方が参加してくれていたのもっと話が聞けたら、まち協にとってたくさんヒントが得られたと思う。
- ・ 色々な方々とお話しできましたし、問題点も気づけた。

- ・ 片瀬に住んでいてなかなか皆の意見を聞くことがないので参加してよかったです。
- ・ トークの時間がとれてよかった。(部屋だったので話が良くできた。)軸は、子供・スポーツ・公園体操・イベント運営スタッフ(ボランティア)などかと思います。(オープン)⇒主催者を固くしない(限定の組織をはなれて好きな人たちで)
- ・ 沢山の意見、経験を持った方が多く、とても楽しく思いました。
- ・ 若い方のお話を伺って刺激を受けました。片瀬を発展させたい思いも伺えて良かったです。
- ・ 片瀬地区で活動する方々の様子がみれた、また、「まちづくり」の課題意識の位置づけと今後における目標づくりによって活性化の可能性が大きい印象を受けられた。
- ・ 地域愛をもつ皆さんのたくさんの意見をお聞きできました。
- ・ ボランティアに関するもので良かった。
- ・ 人が知ることができた
- ・ 一時中断しそうになりましたが、続行できて良かったです。「片瀬山市民の家」について「まちづくり協議会」で報告してほしい。
- ・ 色々な年代の方とお話ができ知りたい情報も知ることができて良かったです。
- ・ おはようボランティアの不足など、現状がわかった。知らせたいこと、困っていることなど、片瀬地区ポータルサイトなどで発信していくとよいのではないかと思います。
- ・ 参加者が真摯に地域のことを考えていたこと。

<良くなかった・まったく良くなかった>

- ・ 議事進行がよくない。
- ・ オンライン参加したが、司会席の音声は聞こえたが、参加者に渡された方は途切れ全く聴きとれ無かった。ただしグループ会議はクリアに聴こえた。前置きが長くて肝心の参加者の声を聞く時間が少な過ぎた。

(1) 地区集会のテーマ設定に対する意見

- ・ 意見交換時間(進め方も)再考してもらいたい。
- ・ ふれあい祭を中心に皆が集まれる行事の開催が数回あったら良い。
- ・ 防災について、専門家の意見を聞きたい。
- ・ 年に1回でテーマが大きすぎて足りない。
- ・ 漠然としていて意見を出すのが自分として難しく思いました。
- ・ まずまず。
- ・ テーマがある方が、お話ししやすいですね。
- ・ 自分にできるボランティアをしていきたいと思う。例えば傾聴ボランティアや年配の方のお話をきく等。
- ・ 地域住民が参加しやすい集会にして欲しい。参加方法を検討した方がよいのではと思います(周知の方法も含め)。若者が参加するようなアプローチが必要。
- ・ 今回は若い世代の方が参加して頂いて、日頃お年の方と接することが多いので、

新鮮でしたし、「みんなで話そう」に良かったと思いました。小さな積み重ねが「参加したくなる」に繋がると思います。

- ・ アンケートの結果はあまり使わなかったのも、はじめからグループトークをした方がよかった。
- ・ 予算や規模にとらわれないテーマであった事から、さまざまな考え方や求める像がみえてくると考えられた。いわゆるブレインストーミングにはぴったりのテーマであろうかと思う。
- ・ テーマを決めたグループトークにするとよいと思う。テーマもよかった。次も期待。
- ・ テーマの募集も一つの方法か。
- ・ 意見以外に事実(データ・分析)が共有された話し合いになるとよいと思いました。
- ・ 「まちづくり」片瀬のこれからを考えていく為に若い方を集めること、保育室を設置、当日参加もOK。など、若いパパ、ママも興味を持てる内容で。防災に関する講演会、グループトークがあっても良い。
- ・ もう少し論点を絞って回数を増やした方がテーマ毎に参加したい方が増えるかもしれないし、議論も深まると思う。
- ・ 共生社会を考える:地域でできること

3 片瀬地区のまちづくりについてご意見をお聞かせください。

- ・ アンケート率 150人/人口19,000人。全体的意見としては少ない気がします。
- ・ 波合市民の家の有効利用。
- ・ みなさんが納得して進むのは容易ではないと思いますが、安心安全に進めるよう願っています。
- ・ こういう集会をもっと機会を作ってください。
- ・ 子供さんを含めた活動、イベント、企画
- ・ 地域の活動に参加してくださる方が増えると良いと思います。
- ・ 今後とも協力して行きたい。
- ・ 初めて参加させて頂き、こんなに沢山のお仕事(活動)をされている事を知り、良かったです。
- ・ 観光地で外部からの人でにぎわっているけれど、本来の「地」の人が居ないので不安を感じると共に、住むのには快適とは言えない。
- ・ 既存のワーキンググループ以外のグループを作ってもよいのではと思う。
- ・ 「まちづくり協議会」の課題認識を明確化することは大事だと思いますが、このような場でいろいろな意見や、それぞれの目標を出し合うのも、とても参考になると思いました。
- ・ 皆が参加するには“この指とまれ”で集まるプロジェクトを立ち上げて実行すると、その人が結果的に地域活動の担い手になる。町内会は下支えに徹する。お金はいらぬ。
- ・ まちづくり協議会として課題認識と優先順位を考えて進めてほしいです。
- ・ 防災の事について、深く話し合う中で住みやすい、参加したくなる街にまるよう

に感じました。地域の回覧板は、回るのが遅く、イベントなどが終わってしまったものも時々あつたりします。LINE の藤沢市からのお知らせだとタイムリーで役に立っているので、SNS など広めるのが良いように思います。

- 活々としたまちづくりを期待したい。10代～20代の意見がほしいので、議論の場が提供される企画があると良い。（「地区集会」には集まらない）
- また、参加できる方を誘ってきます。回覧板のデジタル化で若い人に浸透させたい。
- 講師による講演会により人集めをしたらどうか。
- みんなの意見を聞く場で、忙しい方々が委員なので、これから住み易い「片瀬」になるための委員会にしてほしい。皆様お疲れ様でした。
- 子供と参加できる地域交流の場を作ってほしいです。
- 今後も参加していきたい。
- ”公式 LINE アカウント作成をお願いします。可能性は大きいかと、
- まず防災！
- 雑魚寝避難は止め仮設洋式トイレやトイレトラックの備蓄をお願いします。
- すばな通りマンション群、災害避難指定を！”
- 各団体の長が集まっているので、それぞれの方があまり無理なく、片瀬地区をより暮らしやすい町にできるとよいのではないかと思います。
- 広く地域の方にご意見を聞ける環境設定づくりを考えること。車椅子で参加も、オンラインで参加も、手話や介助者を含めての参加も。

まとめ

今回の地区集会でのグループトークでの主な意見は次のとおりです。

- ・楽しく、やりたいことを自分からやる
- ・子どもと大人と一緒に参加できるイベントで来てもらう
- ・SNS等を利用した情報発信
- ・ボランティアも無償ではなく、何かしらの謝礼が必要
- ・災害など何かあったときに助け合えるつながりが必要 等々

また、事後アンケートでは、今回の地区集会に対し、

- ・意見交換の時間が短かった。
- ・グループトークのテーマが大きすぎたのでもう少し焦点を絞ったほうが話がしやすい
- ・若い世代が参加できるような内容を企画してほしい
など次回に向けてのご意見もいただきました。

今回の地区集会やアンケートを通して、片瀬地区は非常に暮らしやすい、良い地域であり、人と人とのつながりがあるまち、など片瀬地区への思いを感じることができました。この思いを未来へつなぎ、地域のつながりをより強くできるよう、さらにたくさんの方にまちづくりに参加していただける片瀬地区を目指していきます。

皆様からいただいたご意見は、これからの片瀬地区をより良くするためにまちづくり協議会で地域課題としていくのはもちろん、自治・町内会をはじめとする片瀬地区内の地域団体と共有しそれぞれの活動の参考としていただきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。